

平成 25 年度（平成 24 年度実績事業）

下田市教育委員会自己点検・評価報告書

平成 26 年 2 月
下田市教育委員会

目 次

はじめに	1
教育委員会点検・評価の概要	
1 点検・評価の趣旨	2 ~ 3
2 教育委員会議の開催状況	4
3 教育委員会議での審議状況	4 ~ 5
4 教育委員会議以外の活動状況	6
5 施策ごとの取組状況	7 ~ 8
点検・評価シート	9 ~ 40
6 有識者委員会	41
7 有識者委員会の意見	41 ~ 43
8 下田市教育委員会点検評価に関する有識者委員会設置要綱	44 ~ 45

はじめに

平成 20 年 4 月に施行された改正「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、下田市教育委員会では、平成 20 年度の教育委員会の活動や教育施策から、自己点検・評価及び有識者による外部評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に報告するとともに、市民に公表してまいりました。

今年度も同様に平成 24 年度事業について市議会の決算認定をいただいた後に、前回の反省及び指摘事項を含め自己点検・評価を行い、有識者による外部評価をいただきました。

この下田市教育委員会の自己点検・評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条の規定に基づき、毎年、その権限に属する主要な施策や事務事業について一年間の活動状況の課題や取組の方向性を、自ら点検及び評価を行い、有識者による外部の知見を入れることで、今後の効果的な教育行政の一層の推進を図るものです。

この結果を新たな第 4 次下田市総合計画に定められた基本目標に基づく今後の施策に十分に活かし、「人が輝くまちづくり」を担う就学前教育・学校教育及び生涯学習における教育学習環境を更に充実し、活力有る教育行政を推進することで下田市が目指すまちづくりの一役に努めてまいります。

平成 26 年 2 月

下田市教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

下田市教育委員会教育委員名簿

（平成 24 年度 在籍委員）

職名	氏名	任期
委員長	外岡 澄子	H21.12.14～H25.12.13
委員長職務代理者	渡邊 亮治	H22.12.13～H26.12.12
委員	土屋 康宣	H24.12.15～H28.12.14
委員	田中 とし子	H25.3.15～H29.3.14
教育長	野田 光男	H23.7.21～H27.7.20

教育委員会点検・評価の概要

1 点検・評価の趣旨

(1) 点検・評価の目的

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、毎年事務の管理及び執行状況について、学識経験を有する者の知見の活用を図り、自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に報告するとともに、市民に公表しています。

この自己点検・評価は、教育委員会の責任体制の明確化と教育行政の説明責任を果たすことを目的としています。

(2) 点検・評価の対象

点検・評価にあたっては、平成24年度に実施した事務事業について、「第4次下田市総合計画」における基本構想「自ら学ぶひとづくり」・「未来のひとづくり」・「人にやさしいまちづくり」の3施策に分類しました。

第4次下田市総合計画 施策の大綱

人が輝くまちづくり

(1) 自ら学ぶひとづくり

先人が築いた開国を始めとする歴史や文化、地域の伝統や祭りを市民共通の財産として継承し、市民が生涯にわたって自ら学習する機会やスポーツを楽しむ環境を提供し、豊かな心や生きがいを育むとともに多彩で質の高い芸術文化にふれる機会の拡充に努めます。

(2) 未来の人づくり

次世代を担う子どもたちには、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を身につけることが求められています。そのため、保育所・幼稚園や小学校、中学校が連携を強化し、「生きる力」を育む教育を進めるとともに幼稚園と保育所が一体となった就学前教育を推進します。そして郷土の豊かな自然や歴史を学ぶ機会を充実し、郷土に愛着と誇りを持ち、将来を担うことのできる人材を育成します。

また、学校や家庭、地域が一体となり、学校教育や地域活動の充実を図り、地域に開かれた学校づくりを目指すとともに子どもたちが安全で安心して学べる教育環境の整備に努めます。

安心なまちづくり

(1) 人にやさしいまちづくり

すべての市民が住み慣れた地域や家庭で安心して生活できるよう、互いに支えあい「ともに生きる」ことができる、人にやさしいまちづくりを推進します。

また、家庭や地域、市民活動団体などが連携して子育てを支援し、安心して子どもを生んで育てることのできる環境づくりを推進します。

さらに、コミュニティに立脚した地域福祉の再生に努めるとともに、支援を必要とする人の視点に立った福祉サービスの充実を図ります。

(3) 点検・評価の方法

今年度の点検・評価については、施策、事業の執行状況を明らかにするとともに、課題等を分析検討した上で、今後の対応方向を記述しました。

事業は、点検評価シートに基づき点検評価を行い、教育委員の評価としてA「十分成果が上がって良好に行われている。」、B「成果が上がって概ね良好に行われている。」、C「成果が十分に上がっておらず改善が必要。」のいずれかの評価とその評価に基づくコメントを記載しました。

また、点検評価の客観性の確保のため、教育に関し学識経験を有する方等外部の意見をお聞きするため、外部評価委員会を開催しました。

2 教育委員会議の開催状況

教育委員会では、毎月20日以降を目処に月1回の定例会を開催する計画を立て、必要に応じて臨時会を開催しています。

平成24年度は13回の会議を開催しました。

定例会	臨時会	合計
12回	1回	13回

3 教育委員会議での審議状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条及び「下田市教育委員会会議規則」に基づき、平成24年度は37件の議案を審議しました。

区分	番号	議題名
4月定例会 4月20日(金)	報第1号	専決処分の承認を求めることについて(社会教育指導員の任命について)
	報第2号	専決処分の承認を求めることについて(下田市民館館長の任命について)
	報第3号	専決処分の承認を求めることについて (下田市スポーツ推進委員の委嘱について)
	報第4号	専決処分の承認を求めることについて (下田市青少年補導センター補導員の委嘱について)
	議第14号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について
5月定例会 5月25日(金)	報第5号	専決処分の承認を求めることについて (平成24年度下田市一般会計補正予算第2号)
	議第15号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について
6月定例会 6月27日(水)	報第6号	専決処分の承認を求めることについて (平成24年度下田市一般会計補正予算第3号)
	議第16号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について
7月定例会 7月25日(水)	報第7号	専決処分の承認を求めることについて (平成24年度下田市一般会計補正予算第4号)
	議第17号	下田市社会教育委員会への諮問について
	議第18号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について
8月定例会 8月23日(木)	報第8号	要保護及び準要保護児童生徒の認定取消しについて
9月臨時会 9月5日(水)	報第9号	南海トラフ巨大地震による津波高(10mメッシュ)について (教育施設等)
9月定例会 9月27日(木)	報第10号	専決処分の承認を求めることについて (平成24年度下田市一般会計補正予算第5号)
10月定例会 10月24日(水)		議事なし
11月定例会 11月26日(月)	議第19号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (認定こども園建用地造成工事請負契約の締結について)

	議第 20 号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (下田市民文化会館指定管理者の指定について)
	議第 21 号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (下田市民スポーツセンター指定管理者の指定について)
	議第 22 号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (平成 24 年度下田市一般会計補正予算第 7 号)
	議第 23 号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について
12 月定例会 12 月 27 日(木)	議第 24 号	下田市教育委員会委員長の選任について
	議第 25 号	平成 24 年度末下田市小・中学校人事異動方針について
	議第 26 号	稲梓幼稚園の存続を求める嘆願書の処置の決定について
1 月定例会 1 月 22 日(水)	議第 1 号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について
2 月定例会 2 月 26 日(火)	議第 2 号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (下田市公民館設置管理条例の一部を改正する条例の制定について)
	議第 3 号	下田市奨学振興基金条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
	議第 4 号	下田市就学奨励金交付要綱の制定について
	議第 5 号	下田市ニューポート市交流中学生派遣事業補助金交付要綱の制定について
	議第 6 号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (平成 24 年度下田市一般会計補正予算第 8 号)
	議第 7 号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (平成 25 年度下田市一般会計予算)
	議第 8 号	静岡県費負担教職員人事の内申について
	報第 1 号	要保護及び準要保護児童生徒の認定取消しについて
3 月定例会 3 月 26 日(水)	議第 9 号	下田市教育委員会委員長職務代理者の選任について
	議第 10 号	下田市子ども読書活動推進計画 第二次計画の策定について
	議第 11 号	学校教育の指針について
	議第 12 号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について
	議第 13 号	下田市教育委員会事務局職員の人事異動について

基本方針	1 件
議案の原案の決定	7 件
規則及び規程の制定又は改廃	3 件
人事	9 件
準要保護児童生徒の認定	9 件
その他	8 件
合 計	37 件

4 教育委員会議以外の活動状況

教育委員は教育委員会議への出席以外に研修や学校等の訪問、市長との懇談会などに参加しました。

(1) 教育委員の研修状況

実施日	内容	場所	出席者
4月12日(木)	市町教育委員会委員長・教育長会	静岡市	教育委員長 教育長
7月2日(月)	第1回静岡教育事務所管内市町教育委員長・教育長 連絡協議会	沼津市	教育委員長 教育長
9月13日(木)	静岡県都市教育委員長臨時総会及び研修会	沼津市	教育委員長
10月17日(水)	第2回静岡教育事務所管内市町教育委員長・教育長 連絡協議会	沼津市	教育委員長 教育長
11月21日(水)	第53回静岡県市町教育委員研修会	静岡市	教育委員長 教育委員1名

(2) 教育委員の学校訪問等

実施日	場所	内容
10月16日(火)	朝日小学校 稲生沢小学校	移動知事室 校長懇談、授業参観、給食会食
10月19日(金)	下田東中学校 稲生沢中学校 大賀茂小学校 下田中学校	校長懇談、授業参観 校長懇談、授業参観 校長懇談、授業参観、給食会食 校長懇談、授業参観
10月26日(金)	稲梓小学校 稲梓中学校 白浜小学校 下田小学校	校長懇談、授業参観 校長懇談、授業参観 校長懇談、授業参観、給食会食 校長懇談、授業参観
10月29日(月)	浜崎小学校	校長懇談、授業参観、給食会食

(3) 教育懇談会の実施

より良い教育行政の実現に向けて、教育懇談会を実施しました。

実施日	対象	場所
12月17日(木)	市長、副市長	中央公民館
2月4日(月)	稲梓中学校、小学校教職員	稲梓中学校

(4) 教育委員会点検評価有識者委員会

実施日	場所
1月22日(水)	中央公民館

5. 施策ごとの取組状況

平成24年度に実施した事務事業について、平成23年3月に策定した「第4次下田市総合計画」における基本構想の「自ら学ぶひとづくり」、「未来の人づくり」、「人にやさしいまちづくり」の3施策に分類しました。

教育委員会では、それぞれの基本目標を実現させるための施策の項目に対応する事業について点検・評価シートを作成し内部で点検・評価を行い、その後外部評価をいただき、意見をまとめました。

人が輝くまちづくり

(1) 自ら学ぶ人づくり

生涯学習

基本目標 いつでもだれでも生涯にわたり学習できるまちを目指します。

基本目標実現のための施策	事業名	担当課	事業費(千円)
学習施設の再編・整備	公民館管理運営事業	生涯学習課	10,286
学習活動の推進	成人活動推進事業	生涯学習課	272
	公民館活動推進事業	生涯学習課	1,608
	図書館管理運営事業	生涯学習課	19,709
	図書館OA化推進事業	生涯学習課	4,838
郷土資料の保存と継承	伝統的建造物群保存対策事業	生涯学習課	3,206
	市史編さん事業	生涯学習課	3,408

文化・芸術

基本目標 歴史的・文化資源を保存、継承し、文化芸術活動を推進します。

基本目標実現のための施策	事業名	担当課	事業費(千円)
文化施設の整備	市民文化会館管理運営事業	生涯学習課	80,222
文化・芸術活動の活性化 文化財などの保存、継承	芸術文化振興事業	生涯学習課	2,753

スポーツ

基本目標 市民がいつでも気軽にスポーツを楽しむことができるまちを目指します。

基本目標実現のための施策	事業名	担当課	事業費(千円)
施設の有効活用	保健体育総務事務	生涯学習課	1,213
	吉佐美運動公園管理運営事業	生涯学習課	936
	下田市民スポーツセンター管理運営事業	生涯学習課	14,295
スポーツの振興	社会体育活動推進事業	生涯学習課	1,836

人が輝くまちづくり

(1) 未来の人づくり

就学前教育

基本目標 「生きる力」の基礎を育む就学前教育を目指します。

基本目標実現のための施策	事業名	担当課	事業費(千円)
施設の再編・整備の推進	認定こども園建設事業	学校教育課	77,250
就学前教育の充実	公立保育所管理運営事業	学校教育課	177,925
	民間保育所事業	学校教育課	166,902
	地域保育所事業	学校教育課	70,131
	幼稚園管理事業	学校教育課	96,331

学校教育

基本目標 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。

基本目標実現のための施策	事業名	担当課	事業費(千円)
教育施設の整備	小学校管理事業	学校教育課	71,137
	小学校教育振興事業	学校教育課	20,541
	中学校管理事業	学校教育課	43,351
	中学校教育振興事業	学校教育課	18,519
	給食センター建設事業	学校教育課	12,151
総合的な学習の推進	教育委員会事務局総務事務	学校教育課	96,042
いじめ、不登校対策と特別支援教育の推進	児童生徒適応指導事業	学校教育課	2,981
	特別支援教育体制推進事業	学校教育課	16,972

青少年健全育成

基本目標 家庭、地域、学校と関連機関が連携し、豊かな感性と社会性のある青少年を育成します。

基本目標実現のための施策	事業名	担当課	事業費(千円)
健全育成の推進	青少年健全育成事業	生涯学習課	434
	青少年海の家管理運営事業	生涯学習課	472
青少年活動の充実	青少年活動推進事業	生涯学習課	158

安心なまちづくり

(1) 人にやさしいまちづくり

子育て支援

基本目標 こどもがいきいき輝き・健やかに育つ子育て支援社会を目指します。

基本目標実現のための施策	事業名	担当課	事業費(千円)
子育て支援ネットワークの充実	子育て支援ネットワーク事業	学校教育課	75
	ファミリーサポートセンター事業	学校教育課	410
	放課後児童対策事業	学校教育課	8,472

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート(平成 24 年度事業)

人が輝くまちづくり (1)自ら学ぶ人づくり 1 生涯学習 【学習施設の再編整備】					
事業名	公民館管理運営事業	事業費	10,286 千円	生涯学習課	
根拠法令等	下田市公民館設置管理条例、下田市公民館設置管理条例施行規則				
実施方法	直接 委託 補助 負担金 その他【 】				
目的	市民の生涯学習の場として公民館の管理運営を行う。				
具体的施策	公民館利用状況				
	公民館名	平成 24 年度		平成 23 年度	
		件数	利用人数	件数	利用人数
	中央公民館	1,474	18,417	1,398	18,366
	本郷公民館	161	2,046	177	2,555
	中公民館	249	4,357	258	3,992
	稲生沢公民館	423	5,573	459	7,075
	須原公民館	35	518	21	717
	椎原公民館	24	608	54	683
	北湯ヶ野公民館	35	449	42	663
	朝日公民館	380	4,259	375	3,587
	白浜公民館	235	4,264	316	5,777
	合計	3,016	40,491	3,100	43,415
臨時雇賃金(管理人) 1,699 千円 光熱水費 4,527 千円 修繕料 1,699 千円 特殊建築物定期調査業務委託 150 千円 借地料 134 千円					
検証	修繕は、朝日公民館エアコン取替修繕 470 千円他 15 件を実施した。 平成 25 年 3 月末をもって須原公民館を廃止した。				
今後の課題及び今後の対応	公民館廃止後における各地域のコミュニティを守っていくための公共施設の在り方、配置の検討が必要。 完了目標年度(27 年度)の見直し検討を行う。				
教育委員評価		点検評価に関するコメント			
A	十分成果が上がって良好に行われている	公民館の管理運営については概ね良好に執行されている。			
B	成果が上がって概ね良好に行われている				
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要				

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート(平成 24 年度事業)

人が輝くまちづくり (1)自ら学ぶ人づくり 1 生涯学習 【学習活動の推進】					
事業名	成人活動推進事業	事業費	272 千円	生涯学習課	
根拠法令等					
実施方法	直接	委託	補助	負担金	その他【 】
目的	市民の生涯学習の場として、趣味、教養、技能を高め、豊かな人生とコミュニケーション活動を実現するもの。				
具体的施策	寿大学講座講師謝礼 21 千円 家庭教育学級講師謝礼 4 千円 海洋講座講師謝礼 14 千円 家庭教育学級委託 225 千円				
検証	高齢者を対象とした寿大学（教養・健康・安全・歴史講座）及び寿大学趣味クラブ（舞踊・川柳・カラオケ・郷土芸能）を開設した。 幼稚園、小中学校 P T A に家庭教育学級の実施を委託し、親の役割と青少年の育成等について講演会を開催した。 国、県、大学等の研究機関との連携により、水産・海洋学講座を実施した。				
今後の課題及び今後の対応	水産・海洋学講座の受講者減少が見られることから新たな講座開設について検討を行う必要がある。 観光交流課において、平成 25 年度より「世界一の海づくり事業」を実施していることから、当該事業に資するような講座の開設について検討を行う。				

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	市民の生涯学習の場として多くの市民が参加できるような工夫が更に必要である。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート(平成 24 年度事業)

人が輝くまちづくり (1)自ら学ぶ人づくり 1生涯学習 【学習活動の推進】				
事業名	公民館活動推進事業	事業費	1,608 千円	生涯学習課
根拠法令等	下田市公民館設置管理条例、下田市公民館設置管理条例施行規則			
実施方法	直接	委託	補助	負担金 その他【 】
目的	公民館の円滑な推進のため各公民館に館長を置くとともに、各公民館において主に地域住民を対象にした公民館講座を開設する。			
具体的施策	講師謝礼 307 千円 公民館長報酬 1,296 千円			
検証	各公民館において 19 講座、158 回を開催した。			
今後の課題及び今後の対応	各公民館講座の固定化が参加者の固定化に繋がっており、新たな講座の開設が課題となっている。公民館館長会議において、新たな講座の開設について要望中である。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	市民の学習、コミュニティの場として多くの市民が参加しているが、新たな講座の開設が望まれる。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート(平成 24 年度事業)

人が輝くまちづくり (1)自ら学ぶ人づくり 1 生涯学習 【学習活動の推進】				
事業名	図書館管理運営事業	事業費	19,709 千円	生涯学習課
根拠法令等	下田市図書館設置管理条例、下田市図書館設置管理条例施行規則			
実施方法	直接	委託	補助	負担金 その他【 】
目的	図書館の管理運営			
具体的施策	職員人件費	8,348 千円	臨時雇賃金	5,580 千円
	ファーストブック代	249 千円	図書等	2,200 千円
検証	<p>図書館は 273 日開館し、52,658 冊の貸出しを行った。</p> <p>図書は 2,200 千円で 1,543 冊を購入した。</p> <p>ボランティア等によるお話を 6 回開催した。</p> <p>下田市子ども読書活動推進計画 第二次計画を策定した。</p>			
今後の課題及び今後の対応	新庁舎に併設予定であり、利用しやすい図書館となるための調査研究が引き続き必要である。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	より多くの市民利用が図られるため、新図書館について調査研究を望む。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート(平成 24 年度事業)

人が輝くまちづくり (1)自ら学ぶ人づくり 1 生涯学習 【学習活動の推進】					
事業名	図書館OA化推進事業	事業費	4,838 千円	生涯学習課	
根拠法令等					
実施方法	直接	委託	補助	負担金	その他【 】
目的	図書館サービスの充実を図るもの				
具体的施策	図書館システム保守料(債務) 806 千円 図書マーク作成業務委託 137 千円 図書館システムリース料(債務) 3,486 千円				
検証	図書館システムの活用により、県立図書館との相互貸出、実施蔵書貸出業務、レファレンス業務等を円滑に実施できた。				
今後の課題及び今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎に併設予定であり、利用しやすい図書館となるための調査研究が引き続き必要である。 ・学校図書のデータ化による市立図書館と市内小中学校間での相互貸し出しのネットワーク化が課題である。 ・電子図書の調査・検討 				

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	図書館システムにより円滑な図書館業務が行われている。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート(平成 24 年度事業)

人が輝くまちづくり (1)自ら学ぶ人づくり 1 生涯学習 【郷土資料の保存と継承】					
事業名	伝統的建造物群保存対策調査事業	事業費	3,206 千円	生涯学習課	
根拠法令等					
実施方法	直接	委託	補助	負担金	その他【 】
目的	伝統的建造物群の保存対策等の基礎資料を得るため。				
具体的施策	平成 23・24 年度事業として弥七喜、大坂地区を含む旧下田町域を対象に保存対策調査を実施した。 委員謝礼 68 千円 保存対策調査委託 2,663 千円				
検証	調査委託については、建築物 22 棟(平成 23 年度 49 棟)、他補足調査を実施し、調査報告書を 300 部刊行した。 市民を対象とした町並み調査報告会を開催した。				
今後の課題及び今後の対応	市民に対する伝統的建造物群保存地区制度の周知、下田町旧市街地の文化財的価値の周知が課題である。				

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	旧市街地の歴史的町並みの保存・整備に向けて調査成果をより多くの市民に周知し、調査成果をまちづくりに活かして欲しい。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート(平成 24 年度事業)

人が輝くまちづくり (1)自ら学ぶ人づくり 1 生涯学習 【郷土資料の保存と継承】				
事業名	市史編さん事業	事業費	3,408 千円	生涯学習課
根拠法令等				
実施方法	直接	委託	補助	負担金
目的	下田市の歴史を調査し、市史を刊行することを目的とする。			
具体的施策	市史編さん委員	44 千円		
	臨時雇賃金(一般事務)	1,073 千円		
	古文書調査	1,980 千円		
検証	昭和 53 年から事業を開始し、考古・古代・中世・近世・幕末開港の各分野における資料編を刊行し、平成 24 年度は資料編近・現代の刊行に向け、資料収集、解読を行うとともに通史編の刊行に向けた幕末開港関係資料(横須賀市自然・人文博物館所蔵古絵図)の調査を実施した。			
今後の課題及び今後の対応	早期の通史編刊行が課題である。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	早期の通史編の刊行に努めること。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート(平成 24 年度事業)

人が輝くまちづくり (1)自ら学ぶ人づくり 2文化・芸術 【文化施設の整備】 【文化・芸術活動の活性化】				
事業名	市民文化会館管理運営事業	事業費	80,222 千円	生涯学習課
根拠法令等	下田市民文化会館条例、下田市民文化会館条例施行規則			
実施方法	直接	委託	補助	負担金
目的	市民文化会館の管理運営			
具体的施策	修繕料 10,733 千円 市民文化会館指定管理料 69,392 千円 指定管理者により多彩な文化事業が実施されており、平成 24 年度は、下田「天地創造を歌う会公演」他 15 事業を開催し、延べ 6,386 人の入場者があった。 平成 24 年度の年間利用者数は 116,872 人である。			
検証	平成 18 年度から指定管理者制度を導入し、平成 20 年度から公益財団法人下田市振興公社を指定管理者に指定している。 修繕は、大ホール吊物装置ワイヤーロープ交換修繕 7,938 千円、小ホール音響設備修繕 2,835 千円を施工した。			
今後の課題及び今後の対応	建築から 20 年以上が経過し、設備全般にわたり老朽化が顕著になってきており、計画的な改修が必要である。 指定管理料を上げないため収益性ある自主事業運営が課題である。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	計画的な修繕を実施し、市民が安心して利用できる安全な施設づくりに努めること。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート(平成 24 年度事業)

人が輝くまちづくり (1)自ら学ぶ人づくり 2文化・芸術 【文化・芸術活動の活性化】 【文化財などの保存、継承】				
事業名	芸術文化振興事業	事業費	2,753 千円	生涯学習課
根拠法令等	下田市文化財保護条例、下田市文化財保護審議会条例、下田市吉田松陰寓寄所設置管理条例			
実施方法	直接	委託	補助	負担金 その他【 】
目的	芸術・文化の振興を図るもの。			
具体的施策	文化財保護審議会委員 48 千円 臨時雇賃金(管理人) 1,454 千円 印刷製本費 283 千円 指定文化財看板作成業務委託 248 千円 下田市文化協会補助金 250 千円			
検証	静岡県指定史跡である吉田松陰寓寄所の入場者数は 3,213 人、入場料収入は 317 千円であった。 文化財保護審議会は 2 回開催し、市内の文化財等について協議や審議を行った。(旧樋村邸、下田城址、三穂ヶ崎台場遺跡など) 下田市文化協会に芸術祭運営費として 250 千円を補助した。芸術祭については展示部門の出展数 203 点、入場者数 2,365 人、芸能部門の出展数 34 組、入場者数 1,400 人であった。			
今後の課題及び今後の対応	指定文化財等の適切な管理が課題である。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	今後も指定文化財等の保護と管理について努めること。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート(平成 24 年度事業)

人が輝くまちづくり (1)自ら学ぶ人づくり 3 スポーツ 【施設の有効活用】				
事業名	保健体育総務事務	事業費	1,213 千円	生涯学習課
根拠法令等	下田市立学校施設の使用に関する条例、下田市立学校施設の使用に関する条例施行規則、下田市立学校体育施設の開放に関する規則			
実施方法	直接	委託	補助	負担金 その他【 】
目的	市民の体育及びレクリエーションの振興を図るため、下田市が設置する小学校及び中学校の施設の開放。			
具体的施策	学校施設(体育館、グラウンド)の開放事業を行った。 光熱水費 779 千円 修繕料 348 千円			
検証	平成 24 年度の利用状況は、体育館、2,604 件、42,933 人、グラウンド 409 件、8,231 人であった。 修繕として下田東中学校及び稲梓中学校の体育館照明ランプ取替修繕他 2 件を実施した。			
今後の課題及び今後の対応	各利用団体が規則に沿った適正な利用が図られるよう努める。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	利用者が安全に利用できるように施設整備するとともに、規則に沿った適切な利用が図られるよう努めること。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート(平成 24 年度事業)

人が輝くまちづくり (1)自ら学ぶ人づくり 3 スポーツ 【施設の有効活用】				
事業名	吉佐美運動公園管理運営事業	事業費	936 千円	生涯学習課
根拠法令等	下田市立吉佐美運動公園の設置及び管理に関する条例、下田市立吉佐美運動公園の設置及び管理に関する条例施行規則			
実施方法	直接	委託	補助	負担金
目的	吉佐美運動公園の管理運営			
具体的施策	吉佐美運動公園管理業務委託 630 千円			
検証	平成 24 年度の有料施設の利用は、軟式野球、グラウンドゴルフを中心に 201 件、6,011 人であった。			
今後の課題及び今後の対応				

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	今後も多くの市民が利用できるように適切な管理に努めること。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート(平成 24 年度事業)

人が輝くまちづくり (1)自ら学ぶ人づくり 3 スポーツ 【施設の有効活用】				
事業名	下田市民スポーツセンター管理運営事業	事業費	14,295 千円	生涯学習課
根拠法令等	下田市民スポーツセンター条例、下田市民スポーツセンター条例施行規則			
実施方法	直接	委託	補助	負担金 その他【 】
目的	市民の健康の増進と体育の向上及びレクリエーションの振興を図るために設置する下田市民スポーツセンターの管理運営			
具体的施策	下田市民スポーツセンター指定管理料 13,950 千円 修繕料 278 千円			
検証	平成 20 年度から公益財団法人下田市振興公社を指定管理者に指定している。平成 24 年度の利用状況は、2,655 件、80,826 人、利用料収入は 3,978 千円であった。			
今後の課題及び今後の対応	指定管理料を上げないための収益性ある自主事業運営が課題である。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	多くの市民がスポーツやレクリエーションを楽しめるように適切な管理に努めること。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート(平成 24 年度事業)

人が輝くまちづくり (1)自ら学ぶ人づくり 3 スポーツ 【スポーツの振興】				
事業名	社会体育活動推進事業	事業費	1,836 千円	生涯学習課
根拠法令等	スポーツ基本法、下田市スポーツ推進委員規則			
実施方法	直接	委託	補助	負担金 その他【 】
目的	スポーツを通して市民の体力向上、健康増進、仲間づくりを図るもの。			
具体的施策	スポーツ推進委員 124 千円 下田市スポーツ祭委託 189 千円 下田市体育協会補助金 160 千円 静岡県市町対抗駅伝大会補助金 900 千円 下田河津間駅伝競走大会実行委員会補助金 250 千円			
検証	グラウンドゴルフ大会、グラウンドゴルフ教室を開催した。 年 2 回、下田市スポーツ推進委員会を開催した。			
今後の課題及び今後の対応	新たなスポーツの振興のため新スポーツ教室などの開催			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	今後もスポーツを通して市民の体力向上等に努めること。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 24 年度事業）

人が輝くまちづくり (2)未来の人づくり 1 就学前教育 【施設の再編・整備の推進】																				
事業名	認定こども園建設事業	事業費	77,250 千円	学校教育課																
根拠法令等	就学前の子どもに対する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律																			
実施方法	直接	委託	補助	負担金 その他【 】																
目的	下田市幼稚園・保育所再編整備基本計画に基づき、利用児童数の減少、施設の老朽化、保護者の教育と保育に対するニーズ等に対応し、安全な施設で充実した教育や保育を受けることができる環境づくりを行うもの。																			
具体的施策	<p>下田市幼稚園・保育所再編整備基本計画に基づき平成 23 年度末で閉園となった第 3 保育所の解体工事を施工するとともに、認定こども園の建設に向けた下記の事業を実施した。</p> <table border="0"> <tr> <td>下田第 3 保育所解体工事</td> <td>10,950 千円</td> </tr> <tr> <td>認定こども園建設予定地不動産鑑定業務委託</td> <td>210 千円</td> </tr> <tr> <td>認定こども園造成設計業務委託</td> <td>13,931 千円</td> </tr> <tr> <td>認定こども園実施設計業務委託</td> <td>7,035 千円</td> </tr> <tr> <td>認定こども園建設用地土地購入</td> <td>2,000 千円</td> </tr> <tr> <td>認定こども園建設予定地地質調査業務委託</td> <td>2,374 千円</td> </tr> <tr> <td>認定こども園造成工事（債務負担 平成 24 年度分）</td> <td>40,000 千円</td> </tr> <tr> <td>認定こども園造成工事請負契約</td> <td>364,350 千円</td> </tr> </table>				下田第 3 保育所解体工事	10,950 千円	認定こども園建設予定地不動産鑑定業務委託	210 千円	認定こども園造成設計業務委託	13,931 千円	認定こども園実施設計業務委託	7,035 千円	認定こども園建設用地土地購入	2,000 千円	認定こども園建設予定地地質調査業務委託	2,374 千円	認定こども園造成工事（債務負担 平成 24 年度分）	40,000 千円	認定こども園造成工事請負契約	364,350 千円
下田第 3 保育所解体工事	10,950 千円																			
認定こども園建設予定地不動産鑑定業務委託	210 千円																			
認定こども園造成設計業務委託	13,931 千円																			
認定こども園実施設計業務委託	7,035 千円																			
認定こども園建設用地土地購入	2,000 千円																			
認定こども園建設予定地地質調査業務委託	2,374 千円																			
認定こども園造成工事（債務負担 平成 24 年度分）	40,000 千円																			
認定こども園造成工事請負契約	364,350 千円																			
検証	<p>用地造成工事に多額の経費を要するが、想定される津波被害からの安全を確保するためにはやむを得ないものと思われる。</p> <p>用地を購入することにより、効率的な配置が可能となった。</p> <p>廃園となる施設の保護者の理解を概ね得ることができた。</p>																			
今後の課題及び今後の対応	<p>保育所・幼稚園が一体となった施設となるため、管理運営方法の検討及び通園範囲が広域的になるため、通園手段の確保、災害時の安全確保の検討が必要となる。</p>																			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	長年の課題であった再編整備が実現できた。 平成 26 年 4 月開園に向け、順調な工事進捗と管理運営計画の策定が必要である。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 24 年度事業）

人が輝くまちづくり (2)未来の人づくり 1 就学前教育 【就学前教育の充実】																																																
事業名	公立保育所管理運営事業	事業費	177,925 千円	学校教育課																																												
根拠法令等	児童福祉法、下田市立保育所条例、下田市保育の実施に関する条例、下田市保育の実施に関する条例施行規則																																															
実施方法	直接	委託	補助	負担金 その他【 】																																												
目的	公立保育所 3 園の管理運営。																																															
具体的施策	平成 24 年度入所児童数																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>保育所</th> <th>定員</th> <th>0 歳</th> <th>1 歳</th> <th>2 歳</th> <th>3 歳</th> <th>4 歳</th> <th>5 歳</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下田</td> <td>150</td> <td>3</td> <td>10</td> <td>16</td> <td>26</td> <td>32</td> <td>36</td> <td>123</td> </tr> <tr> <td>白浜</td> <td>60</td> <td></td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>14</td> <td>6</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>須崎</td> <td>50</td> <td></td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>260</td> <td>3</td> <td>14</td> <td>23</td> <td>34</td> <td>50</td> <td>47</td> <td>171</td> </tr> </tbody> </table>				保育所	定員	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合計	下田	150	3	10	16	26	32	36	123	白浜	60		3	4	5	14	6	32	須崎	50		1	3	3	4	5	16	合計	260	3	14	23	34	50	47
保育所	定員	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合計																																								
下田	150	3	10	16	26	32	36	123																																								
白浜	60		3	4	5	14	6	32																																								
須崎	50		1	3	3	4	5	16																																								
合計	260	3	14	23	34	50	47	171																																								
	職員人件費（保育士、調理員） 117,143 千円 臨時雇賃金（保育士、調理員、支援員） 38,332 千円 下田保育所空調機設置工事 966 千円 管理用備品（ライフジャケット、リアカー） 334 千円 公立保育所運営費負担金（保育料）収入未済額 1,658,100 円 （15 人 90 件分） 園長・保育士からの督促状の手渡し、電話催告、訪問催告等を実施した。																																															
検証	幼稚園と保育所の連携を図るため、保育所保育士と幼稚園教諭各 1 名の交流派遣を実施した。 下田保育所において緊急・リフレッシュ保育事業を実施した。（48 人利用） 幼稚園、保育所再編整備計画に伴う統合についての説明会を開催した。 津波被害が想定される下田保育所に避難用リアカーとライフジャケットを整備した。																																															
今後の課題及び今後の対応	幼保再編整備を見据えた幼稚園及び保育所の連携を図るとともに、認定こども園を含めた新体制への円滑な移行準備が必要となる。 災害に備えた安全対策の推進が求められる。																																															

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	児童保育の拠点である保育所の各施設の適切な運営を図ることができた。 滞納保育料の解消を目指し、保育料負担の公平性確保が望まれる。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 24 年度事業）

人が輝くまちづくり (2)未来の人づくり 1 就学前教育 【就学前教育の充実】										
事業名	民間保育所事業	事業費	166,902 千円	学校教育課						
根拠法令等	児童福祉法、下田市社会福祉施設補助金交付要綱									
実施方法	直接	委託	補助	負担金	その他【 】					
目的	民間保育所 2 園に対する補助。									
具体的施策	平成 24 年度入所児童数									
		保育所	定員	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合計
		稲生沢	120	3	11	18	35	21	36	124
		ひかり	60	3	12	19	20	15	0	69
		合計	180	6	23	37	55	36	36	193
		民間保育所給食費補助金		742 千円						
	多様な保育推進事業補助金		12,620 千円							
	民間保育所フリー保育士設置補助金		2,100 千円							
	保育所運営費		151,080 千円							
	民間保育所運営費負担金（保育料）収入未済額 2,099,130 円 （22 人 142 件分）									
	園長・保育士からの督促状の手渡し、電話催告、訪問催告等を実施した。									
検証	適正な補助金及び運営費を交付することにより安定的な運営と保育の充実が図られた。									
今後の課題及び今後の対応	幼保再編に併せて定員の調整を行うとともに、適正な運営体制の確保に向けた支援、指導を行っていく。									

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	運営費及び各種補助金を交付することにより、児童保育の拠点である保育所の適切な運営を図ることができた。 滞納保育料の解消を目指し、保育料負担の公平性確保が望まれる。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 24 年度事業）

人が輝くまちづくり (2)未来の人づくり 1 就学前教育 【就学前教育の充実】									
事業名	地域保育所事業	事業費	70,131 千円	学校教育課					
根拠法令等	児童福祉法、下田市立保育所条例、下田市保育の実施に関する条例、下田市保育の実施に関する条例施行規則								
実施方法	直接	委託	補助	負担金	その他【 】				
目的	地域保育所 2 園の管理運営。								
具体的施策	平成 24 年度入所児童数								
	保育所	定員	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合計
	大賀茂	50			11	8	8	12	39
	柿崎	50			11	9	6	11	37
	合計	100			22	17	14	23	76
	職員人件費（保育士、調理員）		55,923 千円						
	臨時雇賃金（保育士、調理員、支援員）		9,914 千円						
	借地料		598 千円						
	管理用備品（ライフジャケット、リアカー）		174 千円						
検証	幼稚園、保育所再編整備計画に伴う統合についての説明会を開催した。 津波被害が想定される柿崎保育所に避難用リアカーとライフジャケットを整備した。								
今後の課題及び今後の対応	幼保再編整備を見据えた幼稚園及び保育所の連携を図るとともに、認定こども園を含めた新体制への円滑な移行準備が必要となる。 災害に備えた安全対策の推進が求められる。								

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	児童保育の拠点である保育所の各施設の適切な運営を図ることができた。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 24 年度事業）

人が輝くまちづくり (2)未来の人づくり 1 就学前教育 【就学前教育の充実】						
事業名	幼稚園管理事業	事業費	96,331 千円	学校教育課		
根拠法令等	学校教育法、下田市立小・中学校及び幼稚園設置条例、下田市立幼稚園管理規則					
実施方法	直接	委託	補助	負担金	その他【 】	
目的	公立幼稚園 4 園の管理運営。					
具体的施策	平成 24 年度児童数					
	幼稚園	3 歳	4 歳	5 歳	合計	学級数
	下田	21	30	14	65	3 学級
	吉佐美	9	7	10	26	2 学級
	白浜	2	4	6	12	2 学級
	稲梓	9	9	5	23	2 学級
	合計	41	50	35	126	9 学級
	職員人件費（教諭）		79,168 千円			
	臨時雇賃金（教諭、支援員）		8,463 千円			
	借地料		1,551 千円			
	管理用備品（ライフジャケット、リアカー）166 千円					
検証	幼稚園と保育所の連携を図るため、保育所保育士と幼稚園教諭各 1 名の交流派遣を実施した。 幼稚園、保育所再編整備計画に伴う統合についての説明会を開催した。 津波被害が想定される吉佐美幼稚園に避難用リアカーとライフジャケットを整備した。					
今後の課題及び今後の対応	幼保再編整備を見据えた幼稚園及び保育所の連携を図るとともに、認定こども園を含めた新体制への円滑な移行準備が必要となる。 災害に備えた安全対策の推進が求められる					

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	保護者や地域の方々と連携し、適切な運営を図ることができた。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 24 年度事業）

人が輝くまちづくり (2)未来の人づくり 2 学校教育 【教育施設の整備】									
事業名	小学校管理事業			事業費	71,137 千円			学校教育課	
根拠法令等	学校教育法、下田市立小・中学校及び幼稚園設置条例								
実施方法	直接 委託 補助 負担金 その他【 】								
目的	公立小学校 7 校の管理運営。								
具体的施策	平成 24 年度児童数								
	小学校	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計	学級数
	稲梓	21	14	18	21	18	13	105	6 学級
	稲生沢	30	38	39	44	40	48	239	9 学級
	白浜	12	17	11	14	16	25	95	6 学級
	浜崎	20	21	19	17	26	31	134	6 学級
	下田 (支援)	36	35	46 (2)	44 (2)	52	63 (3)	276 (7)	12 学級
	大賀茂	17	8	12	7	13	10	67	6 学級
	朝日	28	25	13	19	26	20	131	6 学級
	合計	164	158	158 (2)	166 (2)	191	210 (3)	1,047 (7)	51 学級
職員人件費（用務員）11,921 千円、 臨時雇賃金（用務員）8,548 千円 消耗品 10,287 千円、修繕料 4,931 千円、管理用備品 1,723 千円									
検証	消耗品、管理用備品等は児童数、要望等を考慮し、各学校に予算を配分し執行した。 修繕は、朝日小学校職員室屋根防水修繕 1,234 千円等 90 件を施工した。								
今後の課題及び今後の対応	安全で安心した学校生活を送り、学力向上を目指すことができる環境整備を図るとともに、施設の点検を継続的に実施し、緊急性の高い事業から順次整備を図っていく必要がある。 災害に備えた安全対策の推進が求められる。								

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	施設の老朽化が進む中、限られた予算で適切な維持管理を行った。 児童の安全を確保した施設管理が望まれる。
<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 24 年度事業）

人が輝くまちづくり (2)未来の人づくり 2 学校教育 【教育施設の整備】				
事業名	小学校教育振興事業	事業費	20,541 千円	学校教育課
根拠法令等	学校教育法、下田市立小・中学校及び幼稚園設置条例			
実施方法	直接	委託	補助	負担金 その他【 】
目的	公立小学校 7 校の教育振興事業。			
具体的施策	教科書指導書（電子黒板ソフト）	1,185 千円		
	パソコンネットワーク保守委託（債務）	3,125 千円		
	図書	1,588 千円		
	教材備品	2,976 千円		
	理科備品	976 千円		
	電子黒板購入	7,310 千円		
検証	平成 21 年度に整備済みの浜崎小学校を除く 6 小学校に電子黒板 14 台、実物投影機 6 台、電子黒板用ソフトを整備した。 教材備品、図書については、児童数、要望等を考慮し、各学校に予算を配分し執行した。教材備品については、増額補正で対応した。			
今後の課題及び今後の対応	電子黒板のソフトは毎年度購入することとする。 ICT 関連機器整備には教育振興基金を充当しており、来年度の教育用パソコン更新についても基金充当の予定であるが、今後は一般財源での整備を要求する。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	新規導入した電子黒板など、児童への教育の充実が図られた。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 24 年度事業）

人が輝くまちづくり (2)未来の人づくり 2 学校教育 【教育施設の整備】						
事業名	中学校管理事業	事業費	43,351 千円	学校教育課		
根拠法令等	学校教育法、下田市立小・中学校及び幼稚園設置条例					
実施方法	直接	委託	補助	負担金	その他【 】	
目的	公立中学校 4 校の管理運営。					
具体的施策	平成 24 年度生徒数					
	中学校	1 年	2 年	3 年	合計	学級数
	稲梓	15	18	15	48	3 学級
	稲生沢 (支援)	47 (1)	38	39	124 (1)	5 学級
	下田東	40	36	47	123	4 学級
	下田 (支援)	90 (1)	100 (1)	88 (1)	278 (3)	10 学級
	合計	192	192	189	573	22 学級
職員人件費（用務員）11,921 千円、臨時雇賃金（用務員）8,548 千円 消耗品 10,287 千円、修繕料 4,931 千円、管理用備品 1,723 千円						
検 証	消耗品、管理用備品等は児童数、要望等を考慮し、各学校に予算を配分し執行した。 修繕は、稲生沢中学校屋内運動場照明灯 356 千円、下田中学校屋内運動場防球ネット取替修繕 726 千円等 52 件を施工した。					
今後の課題及び今後の対応	安全で安心した学校生活を送り、学力向上を目指すことができる環境整備を図るとともに、施設の点検を継続的に実施し、緊急性の高い事業から順次整備を図っていく必要がある。 災害に備えた安全対策の推進が求められる。 教育水準の向上と学校経費の合理化のため、小規模校を適正な規模にまでの統合が必要となる。					

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	施設の老朽化が進む中、限られた予算で適切な維持管理を行った。 生徒の安全を確保した施設管理が望まれる。
<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 24 年度事業）

人が輝くまちづくり (2)未来の人づくり 2 学校教育 【教育施設の整備】				
事業名	中学校教育振興事業	事業費	18,519 千円	学校教育課
根拠法令等	学校教育法、下田市立小・中学校及び幼稚園設置条例			
実施方法	直接	委託	補助	負担金 その他【 】
目的	公立中学校 4 校の教育振興事業。			
具体的施策	教科書指導書		3,669 千円	
	パソコンネットワーク保守委託（債務）		4,140 千円	
	図書		934 千円	
	教材備品		5,169 千円	
	理科備品		996 千円	
検証	教科書改訂のため、教科書指導書を購入した。 教材備品、図書については、生徒数、要望等を考慮し、各学校に予算を配分し執行した。教材備品については、増額補正で対応した。			
今後の課題及び今後の対応	平成 26 年度に小学校と同様に電子黒板を導入予定。 平成 27 年度には教育用パソコンの更新が予定されている。 I C T 関連機器整備には教育振興基金を充当しており、平成 25 年度の教育用パソコン更新についても基金充当の予定であるが、今後は一般財源での整備を要求する。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	昨年度、今年度と小学校の I C T 環境の整備が実施されており、中学校においても同様の環境整備が望まれる。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 24 年度事業）

人が輝くまちづくり (2)未来の人づくり 2 学校教育 【教育施設の整備】				
事業名	給食センター建設事業	事業費	12,151 千円	学校教育課
根拠法令等	学校給食法、下田市学校給食共同調理場設置条例			
実施方法	直接 委託 補助 負担金 その他【 】			
目的	老朽化した学校給食調理場を統合し、新たな施設を整備し、安心して安全な給食の提供を行うもの			
具体的施策	平成 23 年度に策定した下田市立給食センター基本計画に基づき、建設予定地の用地購入等を実施した。 用地測量委託 1,743 千円 給食センター建設用地 10,220 千円 （須崎字広浦 1135 番 7 他 2 筆 3,293.94 m ² ）			
検証	当初計画では、平成 26 年度の開設を予定していたが、平成 28 年度開設予定となった。			
今後の課題及び今後の対応	平成 25～26 年度基本設計、実施設計 平成 26 年度 旧浜崎幼稚園解体工事 平成 27 年度 給食センター建設工事 平成 28 年度 給食センター開設 民間委託を含め、給食の実施形態について検討を要する。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	当初計画からの遅れはあるが、平成 28 年の開設へ向けハード・ソフト両面からの具体的な計画策定が望まれる。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 24 年度事業）

人が輝くまちづくり (2)未来の人づくり 2 学校教育 【総合的な学習の推進】					
事業名	教育委員会事務局総務事務	事業費	96,042 千円	学校教育課	
根拠法令等					
実施方法	直接	委託	補助	負担金	その他【 】
目的	教育委員会事務局の運営				
具体的施策	教科指導員謝礼		90 千円		
	幼児ことばの教室指導員謝礼		140 千円		
	外国語指導助手謝礼		2,237 千円		
	小中学校児童生徒対外派遣費補助金		2,492 千円		
検証	総合的な学習の推進のため、教科指導員として、水泳、稲作、琴、書道等の講師をお願いし、体験を通じた学習を実施した。 中学校英語の授業に外国人 A L T、小学校の外国語活動に地域人材を派遣し、充実を図った。 対外派遣費補助金を交付し、中学校部活動の支援を行った。				
今後の課題及び今後の対応	今後も教育効果を上げるため、体験教育のための教科指導員、A L T の効果的な活用、部活動の支援等を実施して行く。				

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	外国語教育の重要性はますます高くなっており、更なる充実が望まれる。
<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 24 年度事業）

人が輝くまちづくり (2)未来の人づくり 2 学校教育 【いじめ、不登校対策と特別支援教育の充実】					
事業名	児童・生徒適応指導事業	事業費	2,981 千円	学校教育課	
根拠法令等	下田市児童・生徒適応教室設置要綱				
実施方法	直接	委託	補助	負担金	その他【 】
目的	心理的又は情緒的な原因により、学校へ登校しない、登校できない状態にある児童及び生徒に対する相談指導を行うことにより、学校復帰への支援を行う。				
具体的施策	臨時雇賃金（適応教室指導相談員） 2,879 千円 会場使用料 10 千円				
検証	賀茂教育会館内に相談員 3 名による「あじさい教室」を設置し、併せて学校訪問指導を実施した。 3 名の相談員は、児童生徒の状況に併せ、適切な支援・指導の充実に努めている。 平成 24 年度通級状況 3 名				
今後の課題及び今後の対応	今後も適応指導教室を設置し、不登校児童・生徒に対し在籍校等との連携を図り積極的に支援を行っていく。				

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	関係機関と連携し、適応指導教室への通級を促進し、学校への復帰を支援した。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 24 年度事業）

人が輝くまちづくり (2)未来の人づくり 2 学校教育 【いじめ、不登校対策と特別支援教育の充実】				
事業名	特別支援教育体制推進事業	事業費	16,972 千円	学校教育課
根拠法令等	学校教育法			
実施方法	直接	委託	補助	負担金 その他【 】
目的	障害のある児童・生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うもの。			
具体的施策	臨時雇賃金（特別支援教育支援員） 12,058 千円 臨時雇賃金（重点分野雇用創出分） 4,513 千円 謝礼 280 千円			
検証	市単費による支援員 12 名、緊急雇用創出事業による 3 名の支援員を配置し、特別支援教育の充実を図った。 また、スクールカウンセラーとして臨床心理士を各学校に派遣し、教育相談を実施した。			
今後の課題及び今後の対応	障害を有する児童・生徒は今後も増加するものと考えられるため、各学校の要望に応じ、支援員を配置して行く。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	支援員、スクールカウンセラーの配置により、特別支援教育の充実が図られている。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート(平成 24 年度事業)

人が輝くまちづくり (2)未来の人づくり 3 青少年健全育成 【健全育成の推進】				
【青少年活動の充実】				
事業名	青少年健全育成事業	事業費	434 千円	生涯学習課
根拠法令等				
実施方法	直接	委託	補助	負担金
	その他【 】			
目的	補導の実施や育成会との連携を行い青少年の健全な成長に資する。			
具体的施策	青少年補導員 228 千円 講師謝礼 58 千円			
検証	青少年補導センターで、補導員による市内各地の巡視を実施した。 県内一斉街頭補導指導及び店舗の立ち入り調査及び街頭キャンペーンを実施した。 地域の特性を活かした体験的な講座を開設し、親子のふれあう機会を創出した。平成 24 年度は漁船釣り教室、天体観測教室、ツリークライミング教室を開催し、参加者は延べ 126 人であった。			
今後の課題及び今後の対応	青少年補導パトロールの実施方法等についての検討が必要である。 スマートフォンや携帯電話などの被害から青少年を守るための研修会等の開催が引き続き必要である。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	今後も青少年の健全育成を行うため、補導や立ち入り調査、各種体験教室などの充実に努めること。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート(平成 24 年度事業)

人が輝くまちづくり (2)未来の人づくり 3 青少年健全育成 【健全育成の推進】 【青少年活動の充実】				
事業名	青少年海の家管理運営事業	事業費	472 千円	生涯学習課
根拠法令等				
実施方法	直接	委託	補助	負担金
目的	青少年海の家管理運営			
具体的施策	臨時雇賃金 120 千円 光熱水費 78 千円 修繕料 74 千円 消防設備点検委託 95 千円 利用人員 市内 621 人 市外 2,679 人 計 3,300 人 使用料収入 30,050 円			
検証	施設の老朽化により耐震性能が劣るため宿泊制限を実施している。			
今後の課題及び今後の対応	施設の老朽化により耐震性能が劣ることから、宿泊しない建物使用について検討する必要がある。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	施設の適切な管理を行い、青少年健全育成に資するとともに、田牛地区の教育旅行の中核施設としての利用に努めること。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート(平成 24 年度事業)

人が輝くまちづくり (2)未来の人づくり 3 青少年健全育成 【青少年活動の充実】				
事業名	青少年活動推進事業	事業費	158 千円	生涯学習課
根拠法令等				
実施方法	直接	委託	補助	負担金
目的	下田市成人式の開催			
具体的施策	成人式記念写真 79 千円 郵便料 55 千円 消耗品費 24 千円 当日出席者 男 90 人 女 98 人 合計 188 人			
検証	新成人のニーズに沿った成人式を挙げるため、アンケート調査を実施している。			
今後の課題及び今後の対応	今後も新成人の企画と参加を推進して、新成人参加型の成人式としていくことが重要である。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	より多くの新成人の参加が得られるように新成人参加型の成人式となるよう努めること。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 24 年度事業）

安心なまちづくり (1)人にやさしいまちづくり 2 子育て支援 【子育て支援ネットワークの充実】				
事業名	子育て支援ネットワーク事業	事業費	75 千円	学校教育課
根拠法令等				
実施方法	直接	委託	補助	負担金
目的	子育て支援環境の充実のため、子育てに携わる官民の関係者が一体となったネットワーク型の事業を推進するもの			
具体的施策	講師謝礼 75 千円			
検証	平成 24 年度は、地域住民等を対象とした講座や講演会を開催し、中学生赤ちゃんふれあい体験事業、子育て支援ネットワーク研修会、親子ふれあい事業を開催した。			
今後の課題及び今後の対応	子育て支援活動促進のため、広域的な交流、情報発信や複数の団体との連携が必要となる。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	事業の連携や情報の共有化を図るとともに、学習の機会の充実により、地域ぐるみでの子育て支援環境づくりが望まれる。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 24 年度事業）

安心なまちづくり (1)人にやさしいまちづくり 2 子育て支援 【子育て支援ネットワークの充実】				
事業名	ファミリーサポートセンター事業	事業費	410 千円	学校教育課
根拠法令等	子ども子育て支援法、下田市ファミリーサポートセンター会則			
実施方法	直接	委託	補助	負担金 その他【 】
目的	地域において育児の援助を行いたい者と育児の援助を受けたい者を組織化し、会員同士が相互援助活動を行うことにより、地域の子育て支援を行い、保護者及び児童の福祉の向上をはかるもの。			
具体的施策	平成 24 年 4 月から下田市ファミリーサポートセンターを開設した。 賠償責任保険料 76 千円 まかせて会員養成講座委託料 200 千円			
検証	平成 24 年度は、まかせて会員 47 人、おねがい会員 16 人の登録があり、32 件の利用があった。			
今後の課題及び今後の対応	今後も会員養成講座を開催し、まかせて会員を養成することにより、子育てにかかる負担を軽減し、安心して育児ができる地域づくりを目指す。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	開設初年度であったが、今後は市民への周知を図り、事業の更なる充実により地域ぐるみでの子育て支援環境づくりが望まれる。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

平成 25 年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（平成 24 年度事業）

安心なまちづくり (1)人にやさしいまちづくり 2 子育て支援 【子育て支援ネットワークの充実】				
事業名	放課後児童対策事業	事業費	8,472 千円	学校教育課
根拠法令等	下田市放課後児童対策事業実施要綱			
実施方法	直接	委託	補助	負担金 その他【 】
目的	放課後等において、家庭等で面倒をみることができない小学校低学年児童に対し、保護者に代わって遊びを主として保護する施設を設け、その健全な育成を図るもの			
具体的施策	臨時雇賃金（保育士） 6,987 千円 臨時雇賃金（重点分野雇用創出分） 1,236 千円			
検証	平成 14 年から下田小学校放課後児童クラブを開設し、平成 24 年度は月平均 22 人の利用があった。 平成 20 年からは、稲生沢小学校放課後児童クラブを開設し、平成 24 年度は月平均 20 人の利用があった。 また、春・夏・冬の長期休暇期間には両クラブで延べ 200 人の利用があった。			
今後の課題及び今後の対応	各地区からの放課後児童クラブ設置の要望はあるが、当面 2 クラブの運営とする。			

教育委員評価		点検評価に関するコメント
A	十分成果が上がって良好に行われている	核家族化や保護者の就労形態により、放課後に保護者不在の子どもが増加している中、適切な遊びや生活の場を提供している。
B	成果が上がって概ね良好に行われている	
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	

6. 有識者委員会

下田市教育委員会の自己点検・評価に対する学識経験者等による知見の活用は、下田市教育委員会の点検評価に関する有識者委員会の4人の委員の方をお願いをしました。

(敬称略)

役 職	氏 名	所 属
委 員 長	渡 辺 紘	教育関係者(元下田北高等学校長)
副委員長	田 中 豊	下田商工会議所会頭
委 員	進 士 司	下田市社会教育委員長
委 員	佐々木 文夫	教育関係者(前賀茂地区校長会長)

7. 有識者委員会の意見

平成24年度事業の点検評価は、下田市第4次総合計画に位置付けられた主要施策のうち、教育委員会の内部評価を経た32事業について実施しました。

教育委員会の内部評価では、32事業中21事業を「十分成果が上がって良好に行われている」、11事業を「成果が上がって概ね良好に行われている」と評価し「成果が十分に上がっておらず改善が必要」と評価された事業はありませんでした。

点検評価に際しては、下田市教育委員会から提出の自己点検・評価シート、主要な施策の成果等の資料を基に担当課長の説明及び教育委員からの補充説明を聴取し、質疑応答を行いました。

有識者委員会としては、各事業の点検・評価シートにおいて、各事業について高く評価する点や今後の改善が期待される点などを指摘しましたが、全体的には概ね良好な実施状況と判断しました。

しかしながら、点検評価に関する有識者委員会の開催については、PDCAサイクルの理念に基づき、次年度以降の事業に対しての反映、事務改善に努めるため早期の開催が望まれます。

【1. 教育委員会の活動】

下田市における教育行政を統括し、推進する役割を担う教育委員会議は、教育委員の積極的な審議と事務局との連携により良好に運営されています。

教育委員会会議の他にも小中学校の訪問は、全ての所管する学校を訪問し、児童生徒の様子や学校施設等の状況確認、校長の学校経営についての説明や懇談を実施しています。

一方、その他の所管する施設、幼稚園、保育所、給食調理場等の訪問は不十分でした。

現行の教育委員会制度の下でそこまで期待されるのも一考を要するようにも思われますが、なんらかの対応、工夫が必要と考えます。

首長との意見交換会については、教育委員会が執行機関としての独立性を維持しつつも、首長の考えを反映してゆくことは常識の範疇です。今後ともしかるべき適当な時期に設定して、相互の信頼と連携を醸成してゆくことが望まれます。

また、稲梓小・中学校教職員と児童生徒の学習環境、生活環境についての意見交換会を開催しています。1学年20名不足で、小学校入学時から中学校卒業時の9年間、入れ替わりのない固定化の場合、児童生徒の人間形成にどのような影響を及ぼすのか、また、専門教科担当教員も一人、或いは専門教科

外で対応せざるを得ない状況では、教員の指導力の向上や相互の切磋琢磨に不足することはないか、今後も検証が必要と考えます。

【2．自ら学ぶ人づくり】

公民館管理運営事業については、下田市集中改革プランに基づき、平成27年度までに中央公民館以外の公民館については、廃止或いは地域に譲渡する計画が進められています。地域へ譲渡する場合には、必要な修繕を実施した後に譲渡を行っており、地域に対しての負担が生じない施策がとられています。

地域住民のコミュニティの場の提供や公民館講座を推進する上で公民館の存在は重要であり、今後も引き続き、公民館施設の適切な配置について検討が必要と思われます。

成人活動推進事業については、観光交流課所管の「世界一の海づくり事業」と連携し、有意義に進めていただくよう要望いたします。

図書館管理運営事業については、現在庁舎との併設が検討されており、厳しい市の財政状況を考慮すると単独での建設は困難であり、併設もやむを得ないと思われませんが、図書館として利用しやすい場所の検討も必要と考えます。

また、図書館の利用率が高い割には駐車場が少なく、駐車場を利用出来ない場合の対応として、中央公民館駐車場の利用についての周知、また、道の駅開国下田みなとに保管されている伊豆文庫の活用についても指摘がありましたので検討が必要と考えます。

伝統的建造物群保存対策調査事業については、今後、重要伝統的建造物群としての指定を受ける方針で取組み、旧町内に存在する文化財等を市民に周知するための施策を実施して行きたいとのことでありますので、今後の施策に期待します。

保健体育総務事務の学校施設（体育館、グラウンド）の開放事業については、活動時間の超過や電気の消し忘れ等の利用者のマナーの改善を期待します。

社会体育活動推進事業については、新スポーツ教室の開催や他市町の教室を参考に、スポーツを通じた市民の体力向上、スポーツ人口の増加を図るための施策の実施が望まれます。

【3．人が輝くまちづくり】

認定こども園建設事業については、景観の観点から、市道沿いのブロック積みの部分についての植栽等の要望があり、また、開園となる平成26年度からは、幼稚園・保育園が一体となった運営となることから、職員の研修、職員配置等の運営体制の整図るよう要望します。

小学校教育振興事業において、全小学校に電子黒板を整備したことは高く評価できます。

ICT環境整備には基金を充当し整備を実施しておりますが、これらの経費については、地方交付税による財源措置がなされているため、今後は一般財源での計画的な整備が望まれます。

児童・生徒適応指導事業での不登校児童・生徒の学校への復帰を積極的に支援した点や特別支援教育体制推進事業での障害を持った児童・生徒に対する適切な指導や支援を行っている点は高く評価するところです。今後も充実を図られるよう期待します。

青少年健全育成事業については、事業の目的に対して事業が縮小されている印象を受けます。限られた予算の中ではありますが、創意工夫を持って地域の恵まれた環境を活かし、親子のふれあう機会を創出する事業展開を期待します。

また、平成 25 年度の全国学力・学習状況調査において、静岡県の小学校 6 年生国語 A が全国最下位であったことについても、本委員会で話題となりました。

教育委員会では各学校の研修主任を中心とした「学力・学習調査検証委員会」を開催し、分析結果を授業に活かすべく取り組むとともに、民間の調査機関が実施する全国標準学力検査を小学校 5・6 年と中学校 1・2 年を対象に実施し、学力の定着を図るための施策を実施することとありますので、今後の児童・生徒の学力向上に向けた取組に期待します。

【4．安心なまちづくり】

ファミリーサポートセンター事業については今年度から開設されたもので、身近な地域での子育て支援事業として非常に有効と思われます。今後も市民への制度の周知を図り、事業の充実を期待します。

【5．最後に】

昨今、教育に関する市民の関心はますます高まってきており、教育委員会は保護者や市民に対して教育施策について広報するとともに理解や協力を求めていくことも教育委員会の大きな役割となってきました。

今後の事業展開にあたっては、実際の現場の様子や市民の声を通じ、事務事業の必要性や効率性、効果等を検証しながら更に工夫、改善を行いながら下田市教育行政の一層の充実を目指すことを望みます。

下田市教育委員会点検評価に関する有識者委員会設置要綱

平成21年7月27日教育委員会告示第9号

(設置)

第1条 下田市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の権限に属する、事務・事業の管理及び執行の状況についての点検・評価を行うことで、地域の実情と住民ニーズに応じ、より効果的な教育行政の推進に資するとともに、事務・事業の管理及び執行状況についての透明性の確保と市民への説明責任を果たすため、下田市教育委員会点検評価に関する有識者委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 教育委員会が実施する事務・事業の点検評価に関すること。
- (2) その他委員会が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、委員5人以内で組織する。

- 2 委員は、教育に関する識見を有する者のうちから教育委員会が委嘱する。
- 3 委員の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。
- 4 委員に欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、委員の互選によりこれを定める。
- 3 副委員長は、委員のうちから委員長が指名する者をもって充てる。
- 4 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。

- 2 委員長は、必要に応じて会議に委員以外の者の出席を求め、その説明又は意見を聞くことができる。
- 3 委員会の会議は、原則として公開とする。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、教育委員会学校教育課において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

下田市教育委員会点検評価に関する有識者委員会設置要綱

平成21年7月27日教育委員会告示第9号

(設置)

第1条 下田市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の権限に属する、事務・事業の管理及び執行の状況についての点検・評価を行うことで、地域の実情と住民ニーズに応じ、より効果的な教育行政の推進に資するとともに、事務・事業の管理及び執行状況についての透明性の確保と市民への説明責任を果たすため、下田市教育委員会点検評価に関する有識者委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 教育委員会が実施する事務・事業の点検評価に関すること。
- (2) その他委員会が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、委員5人以内で組織する。

- 2 委員は、教育に関する識見を有する者のうちから教育委員会が委嘱する。
- 3 委員の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。
- 4 委員に欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、委員の互選によりこれを定める。
- 3 副委員長は、委員のうちから委員長が指名する者をもって充てる。
- 4 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。

- 2 委員長は、必要に応じて会議に委員以外の者の出席を求め、その説明又は意見を聞くことができる。
- 3 委員会の会議は、原則として公開とする。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、教育委員会学校教育課において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

平成 25 年度（平成 24 年度事業）下田市教育委員会自己点検・評価報告書

下田市教育委員会 学校教育課

〒415-0024 静岡県下田市四丁目 6 番 16 号

電話 0558-23-3929 F A X 0558-23-5176

E-mail: kyouiku@city.shimoda.shizuoka.jp